

アフリカ開発銀行

2023年8月8日満期

円償還条項付

円／豪ドル デュアル・カレンシー債券
(フィード・アフリカ・ボンド)



年利率 **1.00%** (税引後 0.796%*)

期間 **約11ヵ月**

※税引後の利率は、20.315%の税金が差し引かれた利率であり、小数点以下第3位未満を切り捨てて表示しています。

お申込期間:2022年8月18日(木)～2022年8月24日(水)

<本債券の特徴>

- お申込代金・利息は円ですが、満期償還の場合、円又は外貨で償還されます。
- 為替レートの変動リスクをとることにより、一般的な同期間の円建固定利付債と比較して、相対的に高い金利を享受できる可能性があります。ただし、為替変動の影響を受け損失が生じる場合があります。

※償還については、中面をご参照ください。

<売出要項>

- | | | | |
|------------|--|----------|---|
| ■発行 者 | アフリカ開発銀行 | ■売 出 価 格 | 額面金額の100% |
| ■発行 日 | 2022年8月24日
※利息起算日:2022年8月25日 | ■申 込 単 位 | 100万円以上、100万円単位 |
| ■受 渡 期 日 | 2022年8月25日 | ■格 付* | AAA(S&P) Aaa(Moody's)
AAA(Fitch) AAA(JCR)
長期発行者格付
(2022年7月25日現在) |
| ■利 払 日 | 初回:2022年11月8日
2回目以降:2023年2月・5月・8月の各8日 | | |
| ■満 期 償 還 日 | 2023年8月8日 | | |

*格付について

- 本格付は、今後見直しが行われる可能性があります。
- Moody's、S&P、Fitchは、金融商品取引法第66条の27の規定に基づく信用格付業者としての登録をしていない格付業者が付与した格付です。

— 「主なリスク」及び「ご投資にあたっての留意点」を必ずご確認ください。 —

AFG おきなわフィナンシャルグループ

おきぎん証券

おきぎん証券株式会社 金融商品取引業者 沖縄総合事務局長(金商)第1号
加入協会:日本証券業協会

償還について

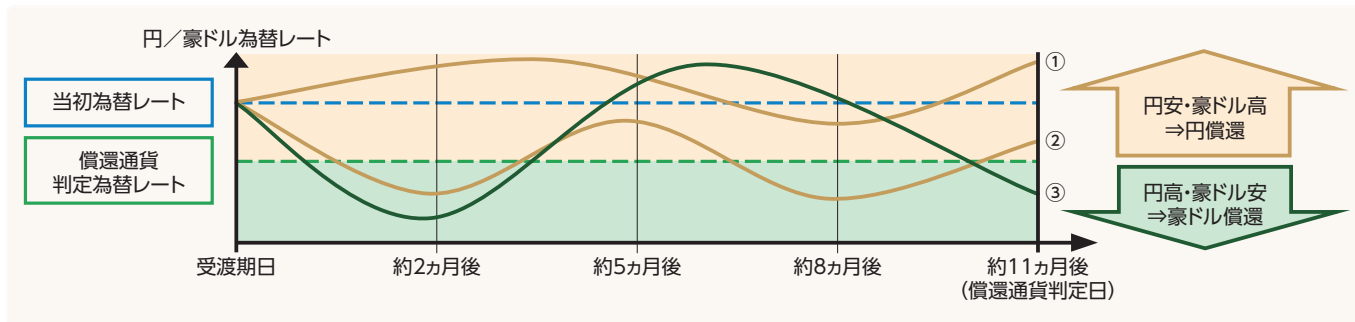
満期償還

■ 円又は豪ドルで満期償還日に償還されます。

<償還為替レートが、償還通貨判定為替レートと同じ、又はより円安・豪ドル高の場合(下図①、②)>
⇒ 額面金額の100%で円償還

<償還為替レートが、償還通貨判定為替レートより円高・豪ドル安の場合(下図③)>

⇒ 額面金額100万円につき、以下の計算式で計算される金額で豪ドル償還 ※1豪セント未満を四捨五入
100万円 ÷ 当初為替レート



※ 償還為替レートが、当初為替レートよりも円安・豪ドル高となった場合(上図①)でも、本債券の償還金額は額面金額100%の円貨となります。

※ 豪ドル償還の場合(上図③)、満期償還日時点において円換算した償還金額は、投資元本を下回る可能性が高いと考えられます。

■ 当初為替レート…… 2022年8月25日における参照為替レート

■ 参照為替レート…… Bloomberg画面「BFIX」のMidページに表示される午後3時(東京時間)における円/豪ドル為替レート

■ 償還通貨判定為替レート…… 当初為替レート - (未定)円/豪ドル(仮条件*:7.00 ~ 24.00円/豪ドル)
※ 2022年8月17日までに決定される予定の上記未定の条件は、仮条件の範囲外となる場合があります。

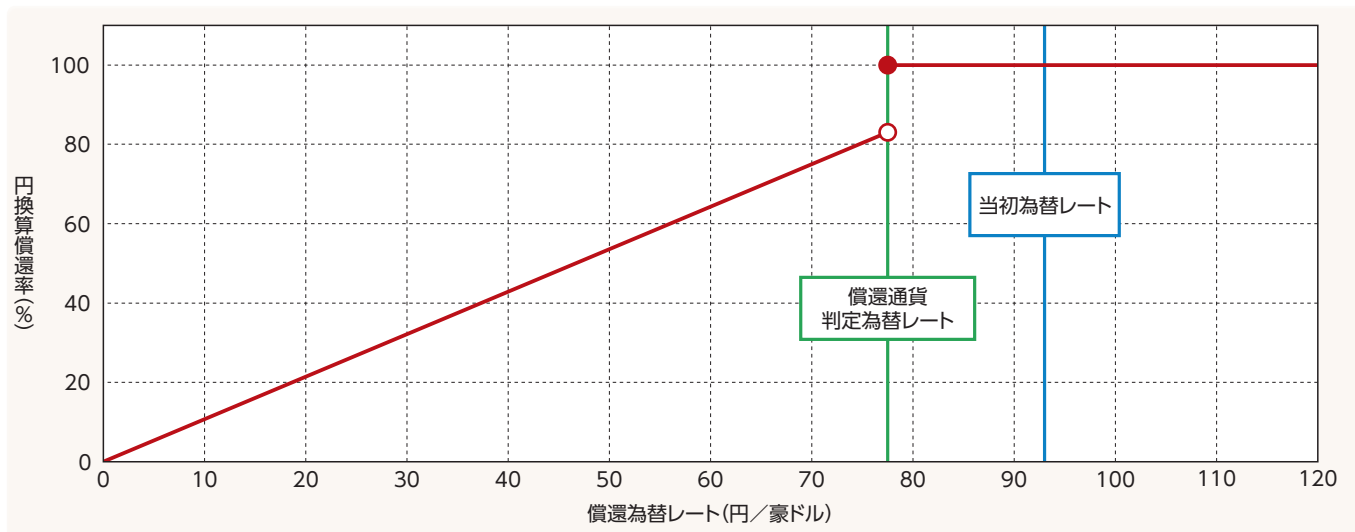
■ 償還為替レート…… 償還通貨判定日における参照為替レート

■ 償還通貨判定日…… 満期償還日の10営業日*前の日

* 営業日については販売説明書をご参照ください。

<償還為替レートと償還率>

[仮定条件] 当初為替レート 93.00円/豪ドル 償還通貨判定為替レート 77.50円/豪ドル



※ 豪ドル償還での円換算償還率は、償還為替レートをもとに算出しています。

満期償還日の円/豪ドル為替レートと償還為替レートは相場状況により異なります。

<ご参考>円／豪ドル為替レートの過去の推移及び償還通貨判定為替レートのイメージ
 [(仮定条件)当初為替レート 93.00円／豪ドル 償還通貨判定為替レート 77.50円／豪ドル]



出所:Bloomberg L.P.

⚠ 上記の為替推移は過去のデータです。また、当初為替レート及び償還通貨判定為替レートは仮定条件であり、実際の数値とは異なります。したがって上記の内容は、将来の投資結果及び市場環境等を保証もしくは予想するものではありません。

■ 主なリスク

- 本債券は、参照する為替レートが一定水準を超える円高となった場合、外貨で償還されることがあります。その結果、円換算した満期償還金額が投資元本を割り込むことがあります。
- 本債券の価格は、円高、外貨金利の上昇、為替レートの予想変動率の上昇等により、購入価格を下回り損失が生じるおそれがあります。
- 本債券は、発行者又は保証会社等の信用状況に変化が生じた場合、本債券の市場価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- 本債券に関する流通市場は確立されていないため、中途売却できない可能性及び購入価格を大きく下回る価格での売却となる可能性があります。

発行者概要

アフリカ開発銀行は1963年8月4日に設立協定が採択、署名され、1966年7月1日に業務を開始しました。その主な役割は、域内加盟国の経済・社会の発展に、個別にあるいは共同で寄与することです。アフリカ開発銀行は、2021年12月31日時点で、81の加盟国(アフリカ域内加盟国54カ国、域外の非アフリカ諸国27カ国)から出資を受け入れています。

出所:アフリカ開発銀行グループ アニュアルレポート2021 (<https://www.afdb.org/en/annualreport>)

「アフリカ開発銀行について」(2022年7月14日現在における発行者のHP) (<https://afdb-org.jp/about>)

※上記発行者概要は公開情報に基づき作成されておりますが、内容の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された情報は今後通知なく変更される場合があります。

フィード・アフリカ・ボンド とは

「アフリカの食料増産(Feed Africa)」は、アフリカ開発銀行の5つの戦略的優先分野である「High 5s(ハイ・ファイブス)※」の1つです。アフリカにおいて農業インフラの開発や農業技術の向上、農業の機械化等を通じて食料の増産を実現し、極度の貧困及び飢餓の根絶、アフリカ全体の農産品の輸出入ギャップの改善等を目指すものです。

アフリカ開発銀行は融資基準に基づき、本債券による調達資金に相当する金額を、上記を目的としたプロジェクトに充当するよう最大限の努力を尽くします。債券により調達される資金は、アフリカ開発銀行の通常資本に組み入れられ、アフリカ開発銀行設立協定に基づき、同行の一般業務に活用されます。

※「High 5s(ハイ・ファイブス)」

アフリカ開発銀行の事業実施上の戦略的優先分野とは、「アフリカの電化」、「食料増産」、「工業化」、「地域統合」、「生活の質の向上」の5つ。



©アフリカ開発銀行

プロジェクトの例

➤ コートジボワール - 北部アグロポール整備プロジェクト

プロジェクト総額: 2.4億ユーロ／アフリカ開発銀行融資額: 4,200万ユーロ

農産業部門の変革に貢献し、同国の食料・栄養安全保障の向上、食料輸入への依存の低減、農産物の輸出増加に寄与するプロジェクト。対象となるバリューチェーン(米、トウモロコシ、マンゴー、カシューナッツ、動物・水産製品)における農業生産性の持続的な向上を目指す。

➤ ジブチ、エチオピア、ケニア、ソマリア、南スーダン、スーダン - アフリカの角における食料及び栄養安全保障のための強靱性構築プログラム

プロジェクト総額: 1.4億米ドル／アフリカ開発銀行融資額: 1.22億米ドル

対象国が国境をまたぐ地域において農牧業の生産性と生産システムを向上させ、農牧業のバリューチェーンの競争力を高め、それによって最終的に貿易と農家の収入を増加させ、コミュニティの気候変動への適応能力を構築することによって、食料安全保障に貢献するプログラム。

想定損失額について

以下は、本債券の価格に影響を与える主な金融指標等(以下、「対象金融指標等」といいます)のヒストリカルデータに基づく、最悪シナリオを想定した本債券の想定損失額のシミュレーションです。

本シミュレーションは試算日(2022年7月14日)の市場環境に基づく簡易な手法により試算したものであり、将来の実際における損失額を示すものではありません。

1.対象金融指標等

円/豪ドル為替レート
豪ドル金利

2.試算の前提となるヒストリカルデータ

■ 対象為替レートの最大下落率

対象為替レート	最大下落率*	観測期間	
		開始日	終了日
円/豪ドル	49%	1990年4月1日	2022年6月30日

※観測期間における、各取引日を起算日とした1年間の期中下落(円高・豪ドル安)率のうち、最大のもの

■ 「期中の想定損失額」の算出にあたって考慮されるその他の参照指標の最大変動幅等

金融指標	最大変動幅*	観測期間	
		開始日	終了日
豪ドル金利	5.70%	1993年12月9日	2022年6月30日

※観測期間における、1年物豪ドルスワップレートの1年間の最大変動幅

(出所:Bloomberg L.P.)

3.満期償還時の想定損失額

対象為替レートである円/豪ドル為替レートが、当初為替レートより上記ヒストリカルデータと同様に下落した場合の、満期償還時における想定損失額は以下の通りです。

額面に対する想定損失額	49%
-------------	-----

4.期中の想定損失額

下記の仮定条件に基づき、本債券の発行直後において対象金融指標等が上記ヒストリカルデータと同様に変動した場合の、期中の想定損失額は以下の通りです。

<仮定条件>

- ・当初為替レート:93.00円/豪ドル
- ・償還通貨判定為替レート:77.50円/豪ドル

額面に対する想定損失額	53%
-------------	-----

5.ご留意事項

- ・前提とするヒストリカルデータを上回る市場変化が生じた場合等には、上記の想定損失額を超える損失が発生する可能性があります。
- ・発行者(含、保証会社等)のデフォルト等、市場環境次第では、上記の想定損失額に関わらず、投資額のほぼ全額を毀損する可能性があります。
- ・本債券に関する流通市場は形成されておらず、また将来形成される予定もないため、中途売却できる保証はありません。
- ・中途売却時における実際の売却価格は、売却時における本債券の流動性及び残存期間の利回り水準等も影響するため、算出することができません。本試算では、期中の想定損失額については受取利息を考慮した上で、対象金融指標等が上記ヒストリカルデータと同様に変動し、かつ発行直後に売却することを前提とした場合の理論値を算出しています。実際に売却する際には、試算した想定損失額を上回る損失が生じる可能性があります。

本書面に記載されたシミュレーションの内容、図表及びグラフは過去データや仮定条件に基づくものであり、将来の投資結果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。

無登録格付に関する説明書

格付会社に対しては、市場の公正性・透明性の確保の観点から、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録制が導入されております。これに伴い、金融商品取引業者等は、無登録格付業者が付与した格付を利用して勧誘を行う場合には、金融商品取引法により、無登録格付である旨及び登録の意義等を顧客に告げなければならないこととされております。以下は、同法に基づいた無登録格付業者に関する説明です。

1. 登録の意義について

登録を受けた信用格付業者は、①誠実義務、②利益相反防止・格付プロセスの公正性確保等の業務管理体制の整備義務、③格付対象の証券を保有している場合の格付付与の禁止、④格付方針等の作成及び公表・説明書類の公衆縦覧等の情報開示義務等の規制を受けるとともに、報告徴求・立入検査、業務改善命令等の金融庁の監督を受けることとなりますが、無登録格付業者は、これらの規制・監督を受けておりません。

2. 無登録の格付会社の例について

格付情報を付与している格付会社のうち、下記の格付会社グループは金融商品取引法第66条の27に基づく登録を受けておりません。

S&Pグローバル・レーティング

■格付会社グループの呼称について

S&Pグローバル・レーティング

■同グループ内で登録を受けている信用格付業者の名称及び登録番号

同グループの下記日本法人は当該登録を受けております。
S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社(金融庁長官(格付)第5号)

■信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について

S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社のホームページ(<http://www.spglobal.co.jp/ratings>)の「ライブラリ・規制関連」の「無登録格付け情報」(<http://www.spglobal.co.jp/unregistered>)に掲載されております。

■信用格付の前提、意義及び限界について

S&Pグローバル・レーティングの信用格付は、発行体又は特定の債務の将来の信用力に関する現時点における意見であり、発行体又は特定の債務が債務不履行に陥る確率を示した指標ではなく、信用力を保証するものでもありません。また、信用格付は、証券の購入、売却又は保有を推奨するものでなく、債務の市場流動性や流通市場での価格を示すものでもありません。

信用格付は、業績や外部環境の変化、裏付け資産のパフォーマンスやカウンターパーティの信用力変化など、さまざまな要因により変動する可能性があります。

S&Pグローバル・レーティングは、信頼しうると判断した情報源から提供された情報を利用して格付分析を行っており、格付意見に達することができるだけの十分な品質及び量の情報が備わっていると考えられる場合にのみ信用格付を付与します。しかしながら、S&Pグローバル・レーティングは、発行体やその他の第三者から提供された情報について、監査・デューデリジェンス又は独自の検証を行っておらず、また、格付付与に利用した情報や、かかる情報の利用により得られた結果の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。さらに、信用格付によっては、利用可能なヒストリカルデータが限定的であることに起因する潜在的なリスクが存在する場合もあることに留意する必要があります。

ムーディーズ

■格付会社グループの呼称について

ムーディーズ・インベスターズ・サービス

■同グループ内で登録を受けている信用格付業者の名称及び登録番号

同グループの下記日本法人は当該登録を受けております。
ムーディーズ・ジャパン株式会社(金融庁長官(格付)第2号)

■信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について

ムーディーズ・ジャパン株式会社のホームページ(ムーディーズ日本語ホームページ(https://www.moodys.com/pages/default_ja.aspx))の「信用格付事業」をクリックした後に表示されるページにある「無登録業者の格付の利用」欄の「無登録格付説明関連」に掲載されております。

■信用格付の前提、意義及び限界について

ムーディーズ・インベスターズ・サービス(以下、「ムーディーズ」といいます。)の信用格付は、事業体、与信契約、債務又は債務類似証券の将来の相対的信用リスクについての、現時点の意見です。ムーディーズは、信用リスクを、事業体が契約上・財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルト事由が発生した場合に見込まれるあらゆる種類の財産的損失と定義しています。信用格付は、流動性リスク、市場リスク、価格変動性及びその他のリスクについて言及するものではありません。また、信用格付は、投資又は財務に関する助言を構成するものではなく、特定の証券の購入、売却、又は保有を推奨するものではありません。ムーディーズは、いかなる形式又は方法によっても、これらの格付若しくはその他の意見又は情報の正確性、適時性、完全性、商品性及び特定の目的への適合性について、明示的、黙示的を問わず、いかなる保証も行っておりません。

ムーディーズは、信用格付に関する信用評価を、発行体から取得した情報、公表情報を基礎として行っております。ムーディーズは、これらの情報が十分な品質を有し、またその情報源がムーディーズにとって信頼できると考えられるものであることを確保するため、全ての必要な措置を講じています。しかし、ムーディーズは監査を行う者ではなく、格付の過程で受領した情報の正確性及び有効性について常に独自の検証を行うことはできません。

フィッチ・レーティングス

■格付会社グループの呼称について

フィッチ・レーティングス

■同グループ内で登録を受けている信用格付業者の名称及び登録番号

同グループの下記日本法人は当該登録を受けております。
フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社(金融庁長官(格付)第7号)

■信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について

フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社のホームページ(<https://www.fitchratings.com/ja>)の「規制関連」セクションにある「格付方針等の概要」に掲載されております。

■信用格付の前提、意義及び限界について

フィッチ・レーティングス(以下、「フィッチ」といいます。)の格付は、所定の格付基準・手法に基づく意見です。格付はそれ自体が事実を表すものではなく、正確又は不正確であると表現し得ません。信用格付は、信用リスク以外のリスクを直接の対象とはせず、格付対象証券の市場価格の妥当性又は市場流動性について意見を述べるものではありません。格付はリスクの相対的評価であるため、同一カテゴリーの格付が付与されたとしても、リスクの微妙な差異は必ずしも十分に反映されない場合もあります。信用格付はデフォルトする蓋然性の相対的序列に関する意見であり、特定のデフォルト確率を予測する指標ではありません。

フィッチは、格付の付与・維持において、発行体等信頼に足ると判断する情報源から入手する事実情報に依拠しており、所定の格付方法に則り、かかる情報に関する調査及び当該証券について又は当該法域において利用できる場合は独立した情報源による検証を、合理的な範囲で行いますが、格付に関して依拠する全情報又はその使用結果に対する正確性、完全性、適時性が保証されるものではありません。ある情報が虚偽又は不当表示を含むことが判明した場合、当該情報に関連した格付は適切でない場合があります。また、格付は、現時点の事実の検証にもかかわらず、格付付与又は据置時に予想されない将来の事象や状況に影響されることがあります。

信用格付の前提、意義及び限界の詳細にわたる説明については、フィッチの日本語ウェブサイト上の「格付及びその他の形態の意見に関する定義」をご参照ください。

この情報は、2022年4月1日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。詳しくは上記格付会社のホームページをご覧ください。

以上

ご投資にあたっての留意点

- 本債券は預金ではなく、元本・利回りは保証されていません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- お申し込みにあたっては「仕組債の取引に係るご注意」「契約締結前交付書面」「本債券の想定損失額について」及び「販売説明書」等をよくお読みいただいた上で、ご投資の最終決定はお客様ご自身にてなされるようお願いいたします。
- 本債券をご購入される場合には、外国証券取引口座の設定が必要となります。「外国証券取引口座約款」を必ずお受け取りください。
- 本債券をご購入される場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 販売会社によって申込単位が異なる場合があります。
- 販売額には限りがありますので、売切れの際はご容赦ください。また、市場環境の変化その他の理由により、販売が中止となる可能性があります。
- 本債券に関する価格情報については、販売会社までお問い合わせください。
- 利金・償還金のお支払いは各利払日・償還日の翌営業日以降となる場合があります。また、特にお申し出がない場合、償還金は円貨でのお支払いとなります。
- 本債券の償還等にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて販売会社が決定する為替レートが適用されます。
- 個人のお客様の場合、利子所得、売却損益及び償還差損益は申告分離課税の対象となります。本債券の課税上の取扱いについては必ずしも明確ではなく、上記と異なる可能性があります。詳しくは税理士等の専門家にお問い合わせください。

— お申し込みにあたっては、必ず契約締結前交付書面及び販売説明書等をご覧ください。—

お問い合わせは…

【連絡先】 本店 098-862-6125

おきぎん証券株式会社

金融商品取引業者 沖縄総合事務局長(金商)第1号 加入協会:日本証券業協会